

蓮田市長 中 野 和 信 様

蓮田市社会資本整備総合交付金（都
市再生整備計画事業）評価委員会
会 長 奥 沢 信 男

社会資本整備総合交付金の事後評価について（答申）

平成 3 0 年 1 2 月 2 5 日付け都計第 2 4 4 号で諮問のあった、蓮田市中心市街地地区について、下記のとおり答申します。

記

	審議事項	委員会の意見
(1)事後評価 評価手続及び 都市再生整備 計画の目標の 達成状況の 確認等の結果 について	方法書	妥当である。
	成果の評価	妥当である。 ・現在の蓮田駅西口再開発事業の一番大きな効果は、西口駅前広場の整備だと思う。再開発ビルの建設があまり進んでいない時期に駅周辺のことを聞いてもよい結果は出ないと思う。再開発ビル完成後のアンケートであれば、効果も上がったのではないか。保育園や道路など基幹事業でまだ整備が完了していないものもある。アンケートの実施時期を工夫する必要がある。 ・指標1「駅周辺の公的施設や満足度」は達成できなかったが、整備予定の道路等が今後完成すること、また再開発ビルが工事着手目に見える状態になったことで満足度が期待できる。また、指標2の「子育て世代人口の集積」が達成でき、地域に合わせた保育園が3園完成することで、子育て世帯が住みやすい街につながった。 ・指標1「駅周辺の公的施設や満足度」の評価値が、目標値だけではなく従前値より下回ったところが気になる。今後も効果が出るように引き続き努力してほしい。少々目標値が高かったかもしれない。 ・指標1「駅周辺の公的施設や満足度」については、目標値を達成することができなかった。効果発現要因を踏まえ、関連施設の整備を進め中長期的には目標を達成できるよう努めること。
	実施過程の評価	妥当である。 当初予定になかった地元の蓮田駅西口地区

		まちづくり協議会とも連携し、活性化に取り組んでいる。
	効果発現要因の整理	<p>妥当である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指標1「駅周辺の公共施設や道路に対する満足度」が達成できなかったが、道路2路線の整備と蓮田駅西口再開発事業の今後の進展が望め、満足度が期待できる。 ・効果発現の整理は妥当であり、指標1の目標値を達成できなかった要因分析等も妥当であると思料される。指標1については、要因を踏まえ中長期的には今回の事業による効果が発現されるよう引き続き関連事業の推進に努めること。
	事後評価原案の公表の妥当性	<p>妥当である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原案について、広報、web等で公表しており妥当である。 ・意見については出されなかったが、市ホームページの閲覧が期間中63件あったことは確認できた。市民の方には事後評価が難しく意見が寄せにくいのかもかもしれない。工夫が必要と感じる。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・「蓮田市閨戸貝塚周辺地区」とともに、市内2か所で都市再生整備計画事業を実施できたことは評価が高い。 ・今回「有識者からの意見聴取」の資料がとても分かりやすく、目標の達成状況の確認がしやすかった。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	妥当に進められたと確認した。
(2)今後のまちづくり等の内容の妥当性について	今後のまちづくり方策の作成	<p>妥当である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蓮田駅は東西駅前広場、自由通路が整備されている。これらに繋がる駅周辺の道路整備を利便性、快適性、回遊性、景観性を考慮し着実に進めていくことが必要である。 ・蓮田駅西口再開発事業エリアは人々が回遊し滞留する拠点である。敷地内のオープンスペースや再開発ビルを活用し、中心市街地としての賑わいを創出することが必要である。 ・埼玉県と蓮田市が連携して行う県道蓮田鴻巣線歩道整備事業は、駅東口と西口との回遊性の向上と安全で快適な商業空間や歩行空間の形成に寄与する。また、蓮田駅西口再開発事業の進捗とともに、地域の活性化が期待される。今後は、ボトルネックになっているJR宇都宮線第一岩槻踏切の拡幅が課題であり、JR東日本と継続して協議されたい。 ・今後のまちづくり方策にかかる検討体制をさらに充実させてほしい。現メンバーに「蓮田市定住促進サイト」に関わる課も含めて検討されたい。 ・商店主や企業主の周辺に、商売に興味がある方々も多くいるので、関係する方々や関係

		課など相互に意見を集めて、ステップアップする商店会を望む。 ・蓮田駅西口再開発事業の推進に伴い、駅周辺に大きなランドマークが誕生することとなる。その蓮田駅西口再開発事業を踏まえ、エリアマネジメントの概念を導入し駅周辺の持続的なまちづくりを引き続き進めることが望ましい。
	その他	今後も交付金を活用して、幹線道路の整備や総合的なまちづくりを進められたい。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	妥当であると確認した。
(3)その他		関係課と調整しながら良いまちづくりを進められたい。